



第8号

田代小だより

令和5年11月30日

児童数142名

愛川町立田代小学校

発行責任者 木村信一郎

令和5年も終わりが見えてきました。一年の計は元旦にありといいますが、次の計画を立てるにはそれまでの取り組みがどうだったのかを検証する必要があります。そこで評価を行うことになるのですが、学校として来年（来年度ですが）どのように教育活動に取り組むのかを定めるための反省材料にするのが学校づくりアンケートです。職員、児童（1～2年生版、3～6年生版）、保護者の皆さまおよび学校運営協議会委員さんがそれぞれ対象の質問紙で今年の活動を振り返ります。4月に発行した学校だより第1号でふれた学校教育目標を再掲します（一部言い換え編集）。

愛川中学校区としてめざす子ども像 「自立し協働してたくましく生き抜く子」

田代小学校の学校教育目標 「共に学び 共に育つ」

目指す児童像 「自ら考え行動する子」

この姿の実現に向けて必要な力をつけられる学びづくりに取り組んでいます。

- ・多様性を認め合い他者を尊重する姿勢づくり
- ・社会と関わる力、自立してたくましく生きる力
- ・校内研究会テーマ「表現する力」

などを意識した、みんながまあOK（ちょっとずつ妥協とか、多数決で少数派が我慢するような結論を出さないとか）と考えられる雰囲気づくり

他者の話を聴いて、自分で消化しよく考えて、自分の考えとしてまた次につなげる経験を

この目標に照らして学校はどうだったか、お子様の様子を通してどうだったか、令和6年度に向けてどのようなことに取り組んでいくべきかをお聞かせいただければと思います。社会と関わる第一歩という意味では、自力で成功したり仲間と協力して目標を達成する経験を積んだりして自己肯定感を高めるのはもちろんですが、失敗や挫折、人間関係について考えるのも学校で経験すべきことだと考えています。学習も含めた課題に直面したときどのように対応するか、どのように周りに伝え、教えてもらったり助けてもらったりするかを知ること成長のひとつです（誰かを助けることもあるでしょう）。自立してたくましく生き抜くには、もしかしたら適度な痛い思いやちょっと道を逸れる経験も必要なのかもしれません。

7月発行の第4号で触れましたが、10年20年後に社会の主役になる人たちを育てるのには自分で新たなものに目を向けて情報をキャッチし、自分で思考・判断して自分で決めて発信できる力をつける必要があります。AIの導入によって日本の労働人口の49%の仕事が10-20年以内になくなる」というレポートが、野村総研とオックスフォード大学の共同研究によって発表されてから8年が過ぎました。また、5年前には新井紀子さんが「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」の中で読解力を基盤として柔軟性を養うことの必要性について書いています。いわゆる学力（勉強）以外にも様々な力が求められるでしょう。

子どもに付けるべき力は、学校だけでは育ちません。是非ご家庭、地域から未来を見据えたご意見をいただきたいと思います。アンケートの対応をよろしくお願いします。

<ふれあいレクリエーション>

11月11日（土）いちょっ子会主催の4年ぶりにふれあいレクリエーションが実施されました。昨年度も準備を進めながら、途中で中止が決定し、今年度、やっと開催できました。いちょっ子会（地域学校共同本部）の皆さんが中心となって150周年のイベントを盛り上げようとアイデアを出し合い、子どもたちに様々なコーナーを提供してくださいました。

また、愛中吹奏楽部の演奏や舞祭駒さんの太鼓の演奏などもあり、子どもたちは、楽しんで参加できていたようです。

P T Aの150周年メモリアルコーナーは午前中から開催し、地域の方や施設からの訪問を受けました。午後からは大勢の保護者にも来場いただき、参観していただきました。

たくさんの方に支えられて無事実施できました。



<今後の主な予定>

(12月)

- 1日（水）児童委員会活動
- 4日（月）家庭教育学級（親子ミニコンサート）
全学年下校 15:00
- 7日（木）おはなし会（1～4年）
- 8日（金）クラブ活動
集金日（教材費・積立金）
- 19日（火）給食終了 全学年下校 14:00
6年紙漉き 5年プログラミング
- 20日（水）3校時日課 全学年下校 11:45
- 21日（木）3校時日課 全学年下校 11:45
- 22日（金）3校時日課 全学年下校 11:45
終業式

(1月)

- 9日（火）3校時日課 全学年下校 11:45
始業式 下校指導
- 10日（水）3校時日課 全学年下校 11:45
- 11日（木）給食開始 全学年下校 14:00

<中学生 職場体験 看護学生 実習>

11月中には、中学生の職場体験や看護学校の学生による看護実習など外部の方が学校で実習する機会が多くありました。それぞれ短い時間ではありましたが、交流を通してお互いに学びあう機会となったようです。



いちょっこブログ



随時更新中！！